



小合中だより



小合中ホームページ

「全力で楽しみ、わくわくの溢れる生徒」「仲間や地域を尊重し、助け合い高め合う生徒」「積極的に創造する生徒」

節目のとき ～新年度への決意～



後期、2年生が頑張ったことは、学級目標の「同心協力」を達成するように過ごしたことです。まず後期の初めには、合唱祭がありました。最初はあまり声が揃わなくて苦戦をしましたが、2年生みんな心を一にし、たくさん練習したことでいい合唱を作ることができました。次は、冬の大運動会です。チーム一丸となって本気で挑み、誰一人欠けることなくみんなが楽しむことができました。最後に、三送会です。三送会の準備は2年生がリーダーとなって取り組む最初の仕事でした。最初は不安もありましたが、委員会のメンバーが全員で協力して準備し、3年生に楽しんでもらうことができました。

どの場面でも「同心協力」を意識して過ごすことができ、1年間を通して、この目標を達成することができたと思います。4月からは進級し、小合中学校を引っ張るリーダーとなります。みんなで協力し、今まで以上に頑張っていきたいです。

2年生代表 ○○ ○○ さん

後期中で、1年生が一番、団結できたのは合唱祭です。初めての合唱祭では、練習の時からみんながお互いにアドバイスしあい、うまくいかないところを何度も歌って、一生懸命頑張りました。本番ではとても綺麗なハーモニーを奏でることができました。先輩たちの合唱は、それぞれのパートの声が揃っていて、とても響く合唱になっていたのも、私たちがそんな合唱にできるように頑張りたいです。

そして、後期から「祭デザイナー」の活動が始まりました。前期に「小合デザイナー」に入っていた4人が誘ってくれたこともあり、さらに7人もの人が自分もやってみたくて声を挙げました。私もそのうちの1人です。来年度の夏に開催する「こあいまつり」に向けて、いろいろな意見を出し合って、地域の皆さんが楽しんでくれるようなお祭りにしたいです。

1年間の中で先生方がかけて下さった言葉や、自分で考えて物事を進める経験を積んで、1年生は前期に比べて積極的に行動する人が増えました。4月からは2年生です。自分から積極的に動けるクラスにできるようにこれからも頑張っていきたいです。

1年生代表 ○○ ○○ さん

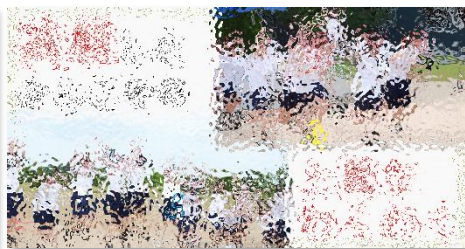
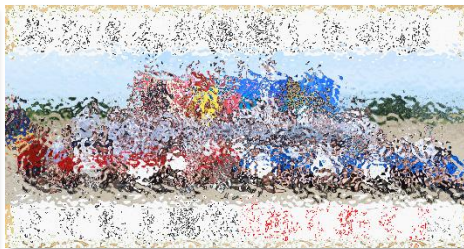




ひとによき感情を創り出せる人物で在り続けたい

～ 学びを総括し、新たな一步へ～

10/14 始業式
こんな話をしました



- ボランティア活動
 - 清掃活動
 - 当番活動
- 日常の中にも

挑戦
わくわく

行事活動
日常活動にも **挑戦**
上質な
最高級のわくわく



あなたの挑戦は、
ひとに、
わくわくを創り出します。
ひとに、
よき感情を創り出します。

ひとに、
よき感情を創り出す
そんな人物で
在り続けましょう

後期終業式 校長講話スライド より抜粋

後期始業式、こんな話をしました。「みなさんが表現しているのは、とても上質なわくわくです。そして、わくわくは原動力となり、苦労や努力、仲間との協働の先に、さらに上質なわくわくが待っています。挑戦したからこそそのわくわく。ぜひその挑戦とわくわくを、日常のすべての場面でも実感してほしい、発揮してほしい。そうすることで、上質なわくわくは、最高級のわくわくとなります」と。あなたにとって、後期は最高級のわくわくとなりましたか。…あなたの日々は間違いなく最高級であった、と私は実感しています。

私の心に、みなさんの言葉がとても多く残っています。少しでも紹介させてください。あるデザイナーは「小合の伝統を SNS に残したい。なぜなら、伝統を引き継ぎたいから。」と決意を込めていました。SNS で発信して、多くの方に小合に来てほしい、ではないのです。SNS を利用することで、素晴らしい小合の伝統を自分が間違いなく引き継げるのだ、と言うのです。あくまで自分がやるという意志は、まさに社会に貢献する立派な一個人です。心から誇りに感じます。またある人は「小合地域で目指す人間像を明確にしたい。目的を共有した方が、大きく成長できるはず。」と発信しました。「学校生活において、ものごとを為す目的を仲間と話し合い、共有したからこそ、みんなが大きく成長できたとの実感しているから。」とのこと。

私も本当に嬉しくて、頼もしくて。みなさんとかかわれて本当に光栄です。私もともに成長できたから。みなさんは私に素晴らしい感情を創り出してくれました。あなたの挑戦は、ひとに、わくわくを創り出します。そして、ひとに、よき感情を創り出します。

ひとに、よき感情を創り出す、そんな人物で在り続けたい。そう思いませんか。

小合中学校 校長 永井 歓





ジカツが始動！

これまでお伝えしてきた通りに、小合中ではこの3月4日放課後をもって部活動を終了し、新たな取組である『放課後自主活動(ジカツ)』を開始しました。令和8年度から新潟市の全中学校において「平日の活動は16:45まで、土日は一切なし」という枠組みが完全実施になることを受け、この初夏の3年生の部活動引退後から秋頃にかけて、生徒と教職員とで検討を重ねました。「限られた放課後の時間は、行事的活動を最優先させたいな」「年にわずか30回、しかも1回30分程度なら技術力向上は望めないよな」「みんなで一緒に何かに取り組める時間にしたいな」そんな小合中生らしい言葉が多々出されて『ジカツ』が誕生しました。生徒が主体的に放課後を充実させよう、というこの取組は、新潟市内でも希少です。

この日は、体育祭の各係活動も同時に行われていたにもかかわらず、全校の約4分の1もの生徒が体育館で汗を流していました。先輩と後輩とがかかわる姿は、普段とはまた異なった、素敵な雰囲気でした。



全力で楽しむ生徒たち



先輩がリードして内容を検討する姿



以下は、秋に配付した「令和8年度の小合中生徒の放課後の過ごし方について」からの再掲です。

- 複数人での活動を想定しています。
- 何をするのは、生徒が自分たちで決めます。
- 放課後ですので、帰宅するのも自由です。
- 活動中に万一のことがあった場合は、昼休み中の怪我、物品の破損と同様に、全生徒が加入している保険が適用されます。(自損による私物の破損等は対象外となります。)

体育祭活動が始動！

小合中では、新年度から体育祭を夏ではなく春に行います。5月22日(金)に開催です。よって3月からすでに本格的に準備が始まっています。

軍団抽選会では、生徒会執行部が企画し、全校を巻き込んで行われました。準備から運営まで、すべてが生徒たちの手で行われました。

パネル制作も急ピッチで進行中です。乞うご期待！



祭プロジェクト会議が始動！

祭デザイナーを中心に、地域の新たな祭である「こあいまつり」が8月1日(土)に開催されます。第0回の会議(準備会)が開催され、大人20名以上が参加し、総勢40名規模の祭デザイナーとなりました。祭デザイナーは今後も絶賛募集中。



秋葉区
長崎区長も
祭デザイナー！

令和8年度の
両小PTA会長も
祭デザイナー！！





転出・退職のご挨拶

山形 享 先生（白根北中学校へ）

7年間お世話になりました。とてもアットホームな雰囲気、毎日が充実感の中で勤めることができました。前向きで意欲的な生徒の皆さんとの授業や行事はとても楽しかったです。また、関わって下さった保護者、地域の皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。後半は、教務主任、生徒指導主事として、校則の見直しや部活動の地域展開といった様々な学校の変革期に仕事をさせていただき、自分にとってたくさん学びがありました。生徒の皆さんが過ごしやすい学校を作ることに、少しでも貢献できていたらうれしいです。小合中学校のますますの発展、皆さんの活躍を新天地から願っています。ありがとうございました。

田中 潤 さん（濁川小学校へ）

小合中学校では5年間、お仕事をさせていただきました。生徒の皆さんからは明るい挨拶や、勉強や行事などを頑張る姿から、癒しとパワーをもらいながら、事務の仕事を頑張ることができました。ありがとうございました。そんな皆さんの、さらなるご活躍と、健康を心よりお祈りいたしております。5年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様からも、たくさん助けていただきました。ありがとうございました。

馬場 庸子 先生（白南中学校へ）

居心地がよくて、長居してしまいました。素直で歌うことが好きな皆さんと一緒に音楽ができて、本当に楽しかったし、私自身も勉強になりました。みなさんの活躍を今後も聞けることを楽しみにしています。7年間お世話になりました。ありがとうございました。

豊嶋 静香 さん（横越中学校へ）

本を読むという時間がかかる取り組みを、温かく見守ってくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。ご家族の温かい愛情に包まれた小合中学校の生徒のみなさんと、心温まる交流をさせていただいたことは大きな喜びでした。5年間お世話になり、ありがとうございました。

上田 和美 先生（退職）

地域にいつも綺麗に花が咲いている小合中学校に7年間勤務させていただきました。『自分の身体は自分がつくる』『食べるもので身体はできている』と伝えてきた7年間でした。皆さんの心にどのくらい残っているのでしょうか。保護者の皆様、地域の皆様からご理解とご協力をいただき、また、支えてくださったこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

斉藤 敬幸 先生（赤塚中学校へ）

小合中学校では5年間お世話になりました。2度の卒業生を送り出し、様々な思い出をもらいました。着任当時は生徒数が少なく驚きましたが、明るく素直な皆さんと過ごした5年間は笑いで溢れていました。中学校の3年間というのは、心も体もとても大きく成長する時期だと思います。笑い合ったり、悩んだり、感動したり、泣きたくなったり…。大事な仲間達と過ごすからこそ、様々な感情が生まれて自分を成長させるのだと思います。みなさんが素敵な大人に成長してくれることを願っています。4月からは赤塚中学校へ異動となります。また新しい出会いの中で笑顔あふれる学校生活を送りたいと思います。みなさん、ありがとうございました。

永井 歓 校長（市教委 教育総務課へ）

ほんの1年間ではありましたが、皆さんと出会えて、かわらせていただけて、とても光栄でした。私にとって、かけがえのない貴重な一瞬一瞬でした。こんなにも仲間が大好きな生徒、こんなにも地域を愛している生徒、そして、こんなにも子どもを大切にする保護者と地域の方々。素敵な小合での記憶は、私の宝物です。わくわくに溢れた日々でした。心から、感謝いたします。

島田 富士子 さん（庄瀬小学校へ）

週2日の勤務で2年間、勤務させていただきました。小合中学校の和やかな雰囲気の中で、心地よく仕事をすることができました。短い期間でしたが、大変、お世話になりました。ありがとうございました。

